

第6回脳科学研究倫理審査委員会 議事録

1. 開催日時：平成21年5月18日（月） 14：00－15：20
2. 開催場所：JST 三番町ビル 特別会議室（7階）
3. 出席委員：杉下委員長、浅川委員、田中委員、二木委員、広瀬委員、谷田部委員
(委員 50音順)

4. 議題

- 1) ERATO 浅田共創知能システムプロジェクト「行為の理解・模倣と言語理解に関する fMRI 研究」

概要；本研究の目的は、(1) 行為の理解・模倣、および (2) 言語理解の際の視点変換機能に関わる成人の脳内メカニズムを、fMRI を用いて調べることである。そして、特にミラーニューロンシステムとの関連性を解明することにより、これらの機能の発達に関する神経科学的モデルを提案することを目指す。

被験者は MRI 装置の中に横たわり、提示される刺激に対し、事前の教示に基づいて簡単な課題を行う。刺激の呈示は視覚あるいは聴覚により行い、反応は手、反応ボタン、あるいはコンピュータマウスを使用する（例：視覚呈示された行為を自分の手で模倣する、音声呈示される文章を理解する、等）。課題遂行中の脳活動を fMRI で計測する。

結果；審議未了となったため、委員会後の委員長の指示により、次の経緯を経て承認となった。

①次の指摘事項に対応すること。

- i) ATR ((株)ATR-Promotions 脳活動イメージングセンタ) 保管書類は「ATR にて保管」を表示すること。
- ii) 「同意書」はプロジェクトにて、データ廃棄まで保管すること。
- iii) 装置・備品による事故について ATR の責任を明確にすること。

②委員長に、安全面に関しては ATR の安全委員会が責任を持つとの認識でよい旨の文書での回答が ATR より浅田プロジェクトにあった事を報告し、委員長は本研究計画の実施を可としても差し支えないと判断した。(平成21年8月21日)

上記内容を理事長へ答申する。

以上

平成21年5月18日

脳科学研究倫理審査委員会の構成

委員長	杉下 守弘	新潟リハビリテーション大学院大学 副学長
委員	浅川 茂樹	独立行政法人理化学研究所 基礎基盤研究推進部仙台研究推進室
委員	田中 里枝	独立行政法人科学技術振興機構 岩田ヒト膜受容体構造プロジェクト 技術参事
委員	内藤 貞夫	内藤貞夫法律事務所 弁護士
委員	二木 宏明	東京大学名誉教授
委員	広瀬 研吉	独立行政法人科学技術振興機構 理事
委員	谷田部 雅嗣	日本放送協会 解説委員

(委員 五十音順)